

飛翔OB会 同窓会 報

平成20年3月1日
第15号

『高なる理想のもと』

校長 大島光子



四月の校長就任以来、同窓生の皆様には、本校

の教育活動万般にわたりまして、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

歴代の校長先生を始めとして、多くの先輩諸氏のご努力によって、三十二年目を迎えるに至りま

ら、まさに壮年期にあたります。根を地中深くはり、幹を太らせ、枝を広げて、大樹に生長させるにはと考える時、根城正一郎初代校長の口癖「真の普通高校をつくる」が、脳裏によみがえります。草創期の荒々しくも若

々しい雰囲気の中で、誠実に育ち、品位のある人間の育成を目標に、当時としては画期的な取り組みがなされました。

山本太郎作詩の賛歌制定、有田焼の壁画「飛翔」や第二体育館の綴帳の制作等、当時の精神を伝えるものとして、今なお親しまれております。

しかし、三十余年の星霜は、否応なく校舎内外の施設、設備の老朽化を

もたらしました。法人当局の援助により、生徒昇降口や職員玄関の改修、第一体育館並びに校舎・ベランダの改装工事等、八年かけて一通り終了致しました。また、保護者のご協力の下、シューズボックス、第二体育館のステージ幕と暗幕の更新も実施することができました。他にも、机や椅子を最新型のものに換え、床のタイルを一新するなど、環境整備を心がけて参りました。未だ不十分ですが、今後も継続して取り組んでいく必要があります。

それというのも、教育には「環境」が大切だと考えるからです。勿論、建物や設備などの目に見えるものばかりではありません。生徒の気質や校内の雰囲気といった内部の人間が日々生活する中で醸し出す、言うに言えないもの、「校風」とか「伝統」とか、重要な部分を占めております。

三十三年間の本校の教育活動が、約九千名に及ぶ同窓生諸氏に結実していると考えられる時、大いに勇気づけられるとともに、責任の重さに肅然とした思いにかられます。

常に良質な教育（サーピス）を提供する活動こそが、本校の出発点である「真の普通高校」への本道であると確信致しておりますので、今後とも特段のお力添えをお願い申し上げます。



洞爺湖サミットシンボルマーク表彰式

(二年) 沢田 滯美

内閣府が主催する、北海道洞爺湖サミットのロゴマーク募集において、二年八組沢田滯美の作品が、応募総数四一九八点から選出され、入賞作品六点の中に入った。一月四日、首相官邸において表彰式が行われた。審査は作家の倉本聡、北海道知事の高橋はるみ、建築家の安藤忠雄、デザイナーの福田茂雄など各界の著名人がおこなった。

可能性を信じて

同窓会会長 熊谷 雄一



卒業生の皆様へ卒業おめでとうございます。新しい旅立ちをまえに、希望と不安をいっばいの

ことだと思います。現在は格差社会などともいわれておりますが、皆様一人ひとりの未来に向けた可能性について、格差はないと思えます。自分の可能性を信じ、明確な目標、それを現実させようとする強い意志を持って、堂々と自分の人生を歩んでいただきたいと思えます。

会員の皆様におかれましては、平日頃より同窓会活動にご理解とご協力をいただいております事に心より感謝申し上げます。

昨今、母校のみならず私立学校を取り巻く環境は、一段と厳しさを増しております。特に、少子化による生徒数の減少により入学者の確保が困難な状況になっており、学校経営に大きな影響を及ぼし始めております。しかしながら、社会の成熟化、価値観の多様化に伴い、画一的な教育から多様な個性化重視へ、学力偏重だけでなく人間教育重視へと教育のニーズが変わりつつある中、母校を始めとする私立学校の存在がますます必要不可欠になってきてい

結婚しました

〇三上 正彦 先生
〇谷崎 日出紀(24回生)
おめでとうございます。

32期活動報告

- 三月一日(木) 飛翔OB会新聞第十四号発行(七千百部)
- 三月二日(金) 第三十二期飛翔OB会入会式(二七三名) 母校第二体育館 会計監査会 石上建設株式会社 三月三日(土) 第三十二回卒業証書授与式 母校第二体育館
- 三月十一日(日) 同窓会新聞封筒詰め作業 八戸中央公民館
- 第三十一期定期幹事会総会 第三十一期会計報告、活動報告、第三十二期予算案、活動計画案は審議の結果全会一致で承認されました。第三号議案で、役員改選では、熊谷会長(五期目)が全会一致で承認されました。 新常任理事 杉本 雅昭(5回生) 竹内 三代(19回生) 田中 洋(19回生) 大久保 平(20回生) 福井 智久(23回生) 新理事 橋本 収史(2回生) 工藤 珠代(4回生) 峯 康弘(7回生) 外新幹事37名が任命されました。 新幹事歓迎会&大久保祐先生を囲む会懇親会 八戸パークホテル 三月二十一日(水)
- 吹奏楽部第五回定期演奏会広告掲載。 八戸公会堂 四月六日(金) 第三十三回入学式 母校第二体育館 四月二十三日(月) 石上正則監事葬儀 八戸プラザアーバンホール
- 五月十九日(土) 第三十回関東支部同窓会 昭和53年5月27日に発足してから三十周年を迎える節目の年でしたので、学校からは、大島校長先生をはじめとして多くの先生方と前校長の大久保先生や、来賓として、東京青森県人会鳥谷部会長、一高関東支部同窓会海老川支部長他数名の方々に参加して下さい、また、ゲストのトリオ★ザ★ボンチオスのミニコンサート、八戸せんべい汁研究所のせんべい汁振る舞いで大いに盛り上がりました。 御茶の水 ホテル 六月十一日(月) PTA・OB会総会 八戸パークホテル 六月十六日(土) 第二回花展 華道部広告掲載。 はちのへ駅はちのへー Fギャラリー 六月二十三日(土) 第九回仙台支部同窓会 きんぎよのになわ 六月三十日(土)



大久保裕先生を囲む会
長い間お疲れ様でした!

- 同窓会案内封筒詰め 八戸ーデンタルオフイス 七月九日(月) 二高後援会総会 太一 七月十九日(木) 二高体育祭 テニス部、東北大会出場祝いとして金一封を贈りました。 母校グラント 七月二十二日(日) 一高星雲同窓会関東支部総会 銀座 白いバラ 七月三十一日(火) デーリー東北新聞に関東支部署中見舞い名刺交換広告掲載。 八月二日(木) デーリー東北新聞に同窓会納涼パーティー広告掲載。 八月四日(土)

- 石上 正則(0回生)
- 木影 茂生(6回生)
- 吉田 賢治(10回生)
- 阿部 明実(12回生)
- 森 暁美(18回生)

物故者

- 十一月十八日(日) 同窓会事務局不要書類を公文書廃棄処分としてヤマト運輸に委託する。
- 十二月十四日(金) 第二十二回美術コース作品展 八戸市美術館 一月三日(木) デーリー東北新聞に関東支部年賀名刺交換広告掲載。

十一月十六日(金) 工大グループ連絡協議会

- 第30・31回美術コース卒業生合同同窓会 八戸パークホテル 八月十一日(土) 役員会
- 石上監査逝去に伴い、後任として、第一ホム社長の岩淵義昭理事(4回生)を全会一致で承認しました。 第八回光彩会総会 決算報告、活動報告、予算案が審議され全会一致で承認されました。 第三十二回同窓会納涼パーティー 八戸パークホテル 九月一日(土) 大島新校長、大久保前校長歓迎会 萬鱗 十一月九日(金) 東京青森県人会創立30周年記念広告掲載。 十一月十日(土) 東京青森県人会創立30周年記念「青森の祭典」 グラントプリンスホテル 新高輪



第9回仙台支部同窓会



第32回納涼パーティー



弔 辞

同窓会の祖を偲ぶ

同窓会事務長 住吉 治彦

故・石上正則君のご靈前に謹んでお別れのご挨拶を申し上げます。

正則と最後に会ったのは、三月三日の八戸工業大学第二高等学校の卒業式だったね。左足が少しむくんで歩くのが辛そうだったが、二高の卒業式に出席して今年も感動をもらってきて良かったと喜んでいたので、

四月九日に大島光子先生の校長就任の食事会の日程の確認の為に携帯に電話したところ、一今、病院に入院して、あと一週間で退院するからお見舞いに来なくてもいいよ。足の腫れが引けたし、来週退院してから日程を決めるから、先生にどこで食事したいか聞いておいてくれ。じゃー来週。」と言ったのに。今、ここにこうして立って、君の写真を見ていても信じられない気持ちでいっぱいだ。(中略)

同窓会のことですが、私達は電波の最後の普通科の卒業生ですが、二年間、今の二高の校舎で学んだ経緯があって、一回生が卒業する時から同窓会を作り、発展させることが大事と二人で考えていた。学校に草案を提出してその代わりに0回生として登録の許可をもらい今日に至っている。当時、私立高校卒業生を見る目は冷たく、それを打破する為に、0回生が社会で



10周年記念式典にて

(上) 同窓会関東支部 発足式



頑張っている姿を見せて、希望と勇気を後輩や保護者の方々に伝え、手本として日々努力する事だと互いに切磋琢磨してきた。その相棒がもういない。お互いに社長業をしてから、会社の将来を見据える決断をする時、孤独で、全責任を背負い大変だなと痛感し、その度にお互いに意見を交わしていたなあ。でもその片腕がもう居ない。君はいつでも、物心両面で家族と従業員とその家族を幸福にする事を第一として、会社継続の為にどうすればいいか考えていた。そして、あと十年六十になるまでは、何とか事業の方向も見えてきたと、あとは健康に気をつけてと言ったのに。志半ばで出来なかったことは、業種は違わなかった。この一年間で社長業の話をしていって出てきた、京セラの稲盛和夫名誉会長の六つの精進を実行すること(一)に誓う。

- 一、誰にも負けない努力をする。
 - 二、謙虚にして驕らず
 - 三、毎日の反省
 - 四、生きている事に感謝する。
 - 五、善行、利他行を積む
 - 六、感性的な悩みをしない。
- を誓いとして君の分まで日々、努力することを君のご霊前に約束する。
- 正則、最後の最後まで親友でいてくれて、ありがとう。君のことは生涯忘れない。冥福を祈る。
- 平成十九年四月二十三日
友人代表 住吉 治彦

☆★500がらのメロリ☆★

- 大原 智子 (10回生)
せんべい汁、TVでもよく取り上げられメジャーになっていきますよ！でも、私はまだ食べてません。ぜひ食べたいと思います。
東京在住
- 関川 慎一 (12回生)
せんべい汁研究所事務局長さんが、先輩だったことは、卒業生としてうれしく思います。私は、♪いかいかいかいか八戸の演奏するホロホロのメロリとして、八戸の宣伝をしています。又、新たにWe Are Hachimoneの一員として♪この街はちのへという曲で、八戸を宣伝しています。
関西河楽器製作所勤務
- 山崎 学 (20回生)
音楽プロデューサーをしています。東京在住
株式会社ミュージックエンタテイメント勤務
- 小山 哲 (24回生)
仙台で車屋の社長をしますよ！
- 篠原 (小林) 理奈 (25回生)
現在、専門学校の鍼灸師学科で専任教員としております。
大阪医療技術学園専門学 校勤務
- 近田 顕児 (26回生)
ナビ関連の基盤設計対策部品を開発しています。
名古屋市在住
- 鈴木 達也 (29回生)
米国生活四年目、九月より四年生、今年の夏はスペイン語の勉強の為メキシコへ。元気で頑張っています。米国オクラホマ州ノースイースタン大学
- 高田 泰裕 (29回生)
お久しぶりです。なんだかんだと今年で最後の学生生活です。六月中旬からは母校で教育実習です。期待と不安でいっぱいな毎日です。
城西大学理学部
- 石亀 康広 (29回生)
現在大学四年生で、デザイン関係の就職先を探しています。大学では、和太鼓部に所属していて、自主講演を九月三十日に行う予定です。
東北芸術工科大学
- 古舘 真希子 (30回生)
専門学校卒業後、介護福祉士の資格を取得し、無事就職できました。毎日、高齢者の方と、笑顔で過ごしています。
八戸市 介護老人保健施設 設南山苑勤務
- 田中 静香 (30回生)
臨床実習で忙しい毎日過ごしています。
岐阜医療技術短期大学
- 梅内 愛 (32回生)
大学では自分の学びたいものを毎日楽しく勉強しています。社会福祉の勉強するにはとても良い環境です。
会津短期大学
- 大竹 聖子 (32回生)
現在、前期検査中！元気に過ごしています。大学生生活エンジョイ中！
静岡英和学院大学
- 鳥谷部 隆之 (32回生)
サッカー部にも入部し、何とかレギュラー入り。
仙台大原簿記公務員専門学校
- 花生 静香 (32回生)
ボランティアや実習など大変ですが頑張っています。
弘前福祉短期大学
- 藤井 愛美 (32回生)
お客様がたくさんいらっしゃるの毎日が大変です。群馬県津温泉 ㈱大阪屋旅館勤務
- 種市 義仁 (32回生)
暑さに耐えながら頑張っています。動物の焼き物の作品制作中
宇都宮市 文星芸術大学

活躍する先輩たち

桃川株式会社 代表取締役社長
村井京太さん (15回生)
(聞き手 事務局)



—まず、お仕事の話から。・・・

二〇〇七年五月にアメリカ・オレゴン州にある桃川関連会社の「S&S BONE」(サケワン)という現地法人での仕事が一落しに帰国しました。そして十月に桃川株式会社代表取締役社長に就任しました。現在の主力商品は「桃川」「ねぶた」「杉玉」の三ブランドです。

「S&S BONE」はアメリカの食文化に合わせたワインを飲むような感覚で飲める日本酒というコンセプトで製造販売しています。

—桃川さんというと、昔からある酒造会社ですが、創業が明治二十二年で、歴史ある会社で、私で六代目になります。

—学生時代の思い出は？

高校時代は遊んでばかりいました(笑)。部活動はやっていませんでした。が、同級生や同校の友人とバンド活動は楽しかったです。パンクバンドで私はギターでした。同じ二高の友人よりも他校生や社会人の友人の方が多かったですね。街中を遊び歩いてたから他校生や社会人と知り合う機会が多かったです。自分より先輩でいい方達に恵まれました。(笑)

—遊び歩いたと言いますが、勉強はあまりしなかつたと思います(苦笑)。

—好きな教科は英語でした。英語以外の成績はいいとは言えなかつたと思います(笑)。

—好きな英語を学ばしてアメリカの大学に行こうと思つたのは、受験した大学を全部落ちたから(笑)。どうしようかなと思つていたら父親(現桃川会長 村井 達氏)が「アメリカの大学はどうだ？」って。・・・半年ほど東京の語学校で英語を勉強して八月に渡米、現地の語学校で勉強して大学に入りました。

—専攻は経営です(日本と言う経済学部経営学科)。その後桃川に就職後、駐在時に大学院に受かり、MBA(経営学修士号)を取りました。実は高校時代、朝利用するバス停で毎日山田 静先生(故人・当時校長)と一緒にバスを待つ五分位の時間をしたんですが、「君はアメリカの大学に行き、生きた勉強をするべきだ」と言われていました。

—さすがは山田先生。村井さんの資質を見抜いていらつたのでしょ。うね。さて次は趣味のお話を。・・・

—大好きなのがバイク！特にハーレー・ダビッドソンです。アメリカにいた頃アメ車やハーレーのカスタムをやっていました。パーツのアセンブルではなく、部品も手作りするといいやり方です。これがもう面白くて面白くて(笑)。そんなことから、現地の車やオートバイのショップに入りたいようになつたんです。私がいた所は車検制度が甘く、「Do it yourself」の国ですから少し位の故障やボディーの傷は自分で直す人が多いんですが、そういう工場の人達って、スラングが多いんです。それに慣れちゃつて、大学の教授に「君、もっと大学生らしい英語を話さない」と注意され、成績にも影響があるほどでした(笑)。

—でも今考えると、そういういわゆる職人さんと接したことが、今の仕事に生かされているなつて感じています。私もモノ作りが好きで職人気質が培われ氣持がわかります。酒造りも杜氏(とうじ)と呼ばれる職人さんの仕事ですから。アメリカにいたころカスタム車を含めたハーレーや車の貿易会社を自分で始めました。米国内や日本からの注文を受けて、バイクを創り納車したり、輸出するという仕事をしていました。

—経験豊富ですね。

—ずっとアメリカで仕事をしていたのですが、ビザが切れ、違法滞在するわけにはいかなかった。日本のカスタムショップからも「ウチに来ないか？」って随分誘われたんですが、とりあえず桃川に入社しました。そしてそれから抜けられなくなつて。・・・桃川入社二年後には米國

に戻り、現地法人に勤務することにしました。そこでは業務全般を管理していたのですが、学ばつたんですが、学ばつた。でも結局長期間アメリカにいたので日本の勉強をしなければと思ひ、米國では高い日本の本を買って勉強していた時、現京セラ名誉会長の稲盛和夫さんの本を読んで感銘を受け、帰国後稲盛さんが主催する勉強会に参加するようにしました。

—勉強会はどんな感じですか？

—私にとってはとても勉強になります。本気で人生や経営を学びたい人には参加をお勧めします。社内でも「自分はこういうことを勉強している。だからあなた達も勉強して下さい」と機会あることに言っています。余談ですが、私の父も英語話せるんですが、未だに勉強しているんですよ。あれには頭が下がります。父は三十年位前に二年ほどアメリカに行つていただけなんです(笑)。学びの姿勢はスゴイと思ひます。

—最後に後輩達にメッセージを。・・・

「自分の足元を見なさい」ということです。アメリカに長く住んで、アメリカのいい所も悪い所も見えるようになります。

でも皆自分のルーツや国のことを誇りを持って話すんです。自分は日本のことをどれだけ理解しているんだろうと反省しましたね。外に出ると中がよく見える、日本のことがよく見えるということがあります。外に出なくても自分の国の文化・歴史を語れなくてはダメだと思ひます。自分の生まれた国はこんなに素晴らしいものがあるんだ、とアピールできるようになってほしいです。そして世界で人気を高めている日本文化、日本の心である日本酒を誇りを持って飲んで頂ければ、そこから何か学ぶこともあるかと思ひます。

—ありがとうございます。



味わい極めた銘酒揃い

桃川 ねぶた 杉玉

ココの桃川 ねぶた 杉玉

http://www.momokawa.co.jp

桃川株式会社

川崎の一年

母校の学舎を巣立ち、二高の近況を知りたいと思われている会員の方も多いのではないのでしょうか。この一年の出来事を報告したいと思います。

十三回入学式が行われ、二高の近況を知りたいと思われている会員の方も多いのではないのでしょうか。この一年の出来事を報告したいと思います。

（三月）三日に卒業した三十二回生の進路結果が発表されました。東北大学一名、新潟大学二名を含む国立大学三十五名合格、国立短期大学三名合格、就職の面でも県内十名、県外十五名と就職希望者全員が目標を達成するなど、とても素晴らしい結果を残しました。二十一日には五回目となる吹奏楽部の定期演奏会が八戸市公民館で開催されました。二十三日から四月三十日まで、三日町のフリースペース「エスタシオン」に美術コース生の作品を一ヶ月以上にわたり展示しました。

（四月）六日に二七八名の新入生を迎えて、第三十三回入学式が行われました。また、同日には先に述べた「エスタシオン」での展示を取材したNHKの番組が放映されました。

（五月）十七日と十八日の二日間にあわって、毎年行われている美術コースの校外スケッチ実習が実施されました。今年は八戸を象徴する風景を描こうと、館鼻下公園周辺が選ばれました。初日の途中で雨が降る悪条件の中、生徒達は丹念に作品を仕上げ、個性的な作品を完成させていました。また、中旬には情報ビジネスコースの二年生が総合学習の一環で、八戸市の根城史跡と三沢市の航空科学館を見学しました。

（六月）一日から四日にかけて、弘前市を主会場に高校総合体育大会が開催され、本校からも十三競技、約四五〇人の選手が参加しました。女子テニス部のダブルスでは三年生の岩淵彩さん・上平芽衣さんが準優勝をおさめました。また、サッカー部はシード校であった青森工業高校に惜しくも敗れましたが、ベスト一六と健闘しました。また、高総体ボクスターの部では美術コース二年の加藤千晶さんの作品が最優秀賞を受賞して採用され、これ本校の美術コースが十三年連続で最優秀賞を獲得しています。

（七月）十六日から十九日にかけて、二高祭が開催されました。前半から文化祭・球技大会で優位に立った青軍を、白軍が追うという状況でしたが、最終日の体育祭で青軍が接戦を制し、白軍を振り切って優勝しました。二十五日から二十七日にかけて、情報ビジネスコースの二年生十九名が、職業意識を高めるために「インターンシップ」に参加しました。積極的に参加した生徒達は、初めての仕事に真剣に取り組み、働くことの厳しさや成就感を体験していました。

（八月）十七日から十九日にかけて、二年生は自学自習と意識・精神力の向上を目標に「安比グラウンドアネックス」で、三年生は国公立大学・難関私大の入試対策を目標に五戸ひばり野スポーツ交流センターで合宿勉強会が行われました。

（九月）三日から来年の五月まで、ドイツからの留学生としてトビアス・ディールケ君が二年八組美術コースへとやってきました。十四日、高校生のための講演会が行われ、東洋学園大学でアメリカ文学を教えている八戸市出身の西川栄子先生による、「英語を通して世界に触れる」と題した講演を聴き、生徒達も英語に対する関心を高めていました。

（十月）十八日に情報ビジネスコースの一年生が福祉施設訪問を行い、「妙水苑デイサービスセンター」でお年寄り達と交流を深めました。二十一日、東京市ヶ谷において、「私のしごと」作文コンクールの表彰式が行われ、三年生の飯野祥彰君が応募総数五八八編の中から特別賞を受賞しました。二十二日から二十八日まで、八戸市三日町のフリースペース「エスタシオン」で美術コース二・三年生が制作した照明「デザイン」展が開催されました。二十六日、元プロレスラーのアニマル浜口さんによる「俺の気合い人生」と題して、文化講演会が行われました。

（十一月）八日、情報ビジネスコース二学年の総合学習の一環として、カナダ、ルーマニア、中国、米国、ドイツの五カ国の方をお招きし、国際交流会が行なわれました。

（十二月）十四日から十六日にかけて、八戸市美術館で第二十二回美術コース作品展が行われ、美術コース全学年六十九名が制作した、約百二十点の作品が展示されました。十五日・十六日の二日間、華道部第三回花展が開催されました。五名という少ない部員数でありましたが、賛助作品として六名の教員も参加し、池坊副総華督である川口英子先生のご指導のもと市中心街に華を添えました。

（一月）四日、東京赤坂の首相官邸にて、洞爺湖サミットのロゴマークの表彰式が行われました。北海道洞爺湖サミットの主要テーマの一つである環境・気候変動問題を青少年に理解を深めてもらうために、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に昨年七月から九月までの間にロゴマークを公募し、四一九八点の応募があり、最優秀賞一点、優秀賞五点が選ばれました。惜しくも最優秀賞は逃しましたが、美術コース二年生の沢田滢美さんの作品が優秀賞を受賞し、授賞式では福田首相から賞状が手渡されました。

吹奏楽部定期演奏会のお知らせ
平成二十年三月二十日
開場 十五時三十分
開演 十六時
八戸市公民館にて無料



（五月）十七日と十八日の二日間にあわって、毎年行われている美術コースの校外スケッチ実習が実施されました。今年は八戸を象徴する風景を描こうと、館鼻下公園周辺が選ばれました。初日の途中で雨が降る悪条件の中、生徒達は丹念に作品を仕上げ、個性的な作品を完成させていました。また、中旬には情報ビジネスコースの二年生が総合学習の一環で、八戸市の根城史跡と三沢市の航空科学館を見学しました。

（六月）一日から四日にかけて、弘前市を主会場に高校総合体育大会が開催され、本校からも十三競技、約四五〇人の選手が参加しました。女子テニス部のダブルスでは三年生の岩淵彩さん・上平芽衣さんが準優勝をおさめました。また、サッカー部はシード校であった青森工業高校に惜しくも敗れましたが、ベスト一六と健闘しました。また、高総体ボクスターの部では美術コース二年の加藤千晶さんの作品が最優秀賞を受賞して採用され、これ本校の美術コースが十三年連続で最優秀賞を獲得しています。

（七月）十六日から十九日にかけて、二高祭が開催されました。前半から文化祭・球技大会で優位に立った青軍を、白軍が追うという状況でしたが、最終日の体育祭で青軍が接戦を制し、白軍を振り切って優勝しました。二十五日から二十七日にかけて、情報ビジネスコースの二年生十九名が、職業意識を高めるために「インターンシップ」に参加しました。積極的に参加した生徒達は、初めての仕事に真剣に取り組み、働くことの厳しさや成就感を体験していました。

（八月）十七日から十九日にかけて、二年生は自学自習と意識・精神力の向上を目標に「安比グラウンドアネックス」で、三年生は国公立大学・難関私大の入試対策を目標に五戸ひばり野スポーツ交流センターで合宿勉強会が行われました。

（九月）三日から来年の五月まで、ドイツからの留学生としてトビアス・ディールケ君が二年八組美術コースへとやってきました。十四日、高校生のための講演会が行われ、東洋学園大学でアメリカ文学を教えている八戸市出身の西川栄子先生による、「英語を通して世界に触れる」と題した講演を聴き、生徒達も英語に対する関心を高めていました。

（十月）十八日に情報ビジネスコースの一年生が福祉施設訪問を行い、「妙水苑デイサービスセンター」でお年寄り達と交流を深めました。二十一日、東京市ヶ谷において、「私のしごと」作文コンクールの表彰式が行われ、三年生の飯野祥彰君が応募総数五八八編の中から特別賞を受賞しました。二十二日から二十八日まで、八戸市三日町のフリースペース「エスタシオン」で美術コース二・三年生が制作した照明「デザイン」展が開催されました。二十六日、元プロレスラーのアニマル浜口さんによる「俺の気合い人生」と題して、文化講演会が行われました。

（十一月）八日、情報ビジネスコース二学年の総合学習の一環として、カナダ、ルーマニア、中国、米国、ドイツの五カ国の方をお招きし、国際交流会が行なわれました。

卒業生からの声

美術で得たもの

小 枝 佳 祐

二高で過ごした三年間は、自分にとって勉強・部活動ともにとても充実した日々だった。その中で一番学ぶことの多かつたのが、美術コースとして過ごした日々だ。私は小さいときから絵に興味を持っていて、中学のときも美術部に入っていた。そのころから、美術を真剣にやってみようと思い、美術コースに入学した。入学当初は美術の意味も分からず、ただ写真のように描くことだけが美術で得たものかと思っていた。しかし、先生方からの指導や助言を頂くことによって、「表現すること」「完成形を想像して制作すること」の大切さを知り、美術というものが少し理解することができた。二高に入ってから本格的に始めた美術だが、これからの人生の中でも必要となることを教えてくれた。大学でも美術コースで学んだことをさらに高めていくよう努力したい。

最後に、三年間支えてくれた先生方、友達、両親、そして二高に感謝。美術で得たものは、想像力や表現力、そして仲間との絆。これらは私の人生に大きな影響を与えている。二高で学んだことは、私の人生に大きな財産となっている。これからも努力を怠らないうえ、二高で学んだことを活かして生きていきたい。

学んだこと

石 塚 友 紀

私の高校三年間。それは、部活や受験など、色々な面でたくさん学んだことを学ぶことができた。とても充実したものであった。三年間バレーボール部に所属していた私は、部長を任されていた。日頃の練習や、先生の何気ない言葉などから、上の立場に立つ者としての感情のコントロールの仕方、何事にも諦めない強い心、我慢強さを身につけることができた。これは、これからの生活でも活かしていきたい。

受験では、小論文に一番苦労した。最初はE評価から始まり、上手く書けずに悩んだことも多々あった。目の前の原稿用紙とにらめっこをする毎日だった。そんな時に、部活での辛い練習の日々を思い出し、最後まで諦めずに頑張ることができた。努力は必ず報われるということを、受験を通して実感した。この三年間、本当に色々なことを勉強し、自分と向き合うことができた。人弦的にも成長できた気がする。支えてくれた先生方、家族、友達……。どうもありがとう。

東 部 三 十 周 年 記 念 特 集



八戸せんべい汁の振る舞いは大好評



ゲストのトリオ★ザ★ボンチョス



八戸（左）と盛岡（右）から関東支部への参加



「好きだDear！八戸せんべい汁」
振り付け練習中



新旧校長先生の歓送迎会 萬鱗にて



参加者全員で「ハイ！チーズ！」

支部総会や納涼パーティーに、多くの会員の皆様に参加していただければと思います。

電話（〇一七八）
四三一一一一一
会費 二千元

平成二十年八月九日
（土）十八時開会
八戸パークホテル
（八戸市吹上二一十五
—九七）

第三十三回同窓会
納涼パーティー

電話（〇二二）
二二四一八八八七
会費 二千元
太平ビル5階

平成二十年六月二十一日
（土）十八時開会
KINGYOの庭
（仙台市青葉区中央
一—十一—二十三

第十回同窓会
仙台支部総会

電話（〇三三）
三二五一一七二二二
会費 二千元
ホテル聚楽
（東京都千代田区神田
淡路町二一九）

平成二十年五月二十四日
（土）十八時開会
電話（〇三三）
三二五一一七二二二
会費 二千元

第三十一回同窓会
関東支部総会

主な行事案内